街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第１７２号
平成29年(2017)7月発行
発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-22-3（〒142-0062）
TEL　3786－2000
FAX　3786－5385

花めぐり

カシワバアジサイ

平成25年4月に、補助46号線が全面開通するにあたり、かむろ坂上より目黒方面に向かって、小山台小学校前交差点が大きく出来上がりました。その交差点に面して、浅く横広に、町会有志による花壇が作られました。「かしわみどり会」です

この「かしわ」は、学校の校章であり、校歌にも歌われています。地元で親しまれている「かしわ」に因んで、25年5月に7本のカシワバアジサイの苗木が植えられました。毎年梅雨の時期には、花の房が30センチ以上にもなり、白い大輪となります。

道行く人がカメラに収めたり、語らいながら見てくれています。

近年、あじさいも色々種類が増え、純白からグラデーション、ハート型に咲いているものも見かけます。梅雨時はあじさいが主役ですね。カシワバアジサイも王道を目指しているかもしれません。

（小山台1丁目東町会・川崎　喬子）

高齢者の身近な相談窓口

支え愛・ほっとステーション開設

コーディネーターのお二人

高齢者の方の身近な相談窓口として開設している「支え愛・ほっとステーション」が、6月9日（金）に荏原第一地域センター内にオープンしました。

同施設は、品川区が社会福祉協議会へ委託して運営する事業で、高齢者やひとり暮らしのお年寄りの方が、生活で困っていることなどを気軽に相談できる窓口です。今年度、荏原第一地域センターを含むすべての地域センターで展開されることになりました。

荏原第一地域センターでは、二人のコーディネーター、工藤直子さん（くどう・なおこ／写真・右）と原田絢子さん（はらだ・あやこ／写真・左）が常駐します。工藤さんは、「高齢者の方たちの身近な相談をはじめ、誰にも相談できずに孤立しているような方などを発見できる仕組みを作っていきたい。荏原第一地区の見守り活動と連携し、また、皆さんの意見もいただきながら、地域で今何が必要なのかを考え、既存の事業をさらに活性化させたい」と話していました。

同施設の相談は無料です。お気軽にご相談ください。

また、ボランティアも募集しています。詳しいことは次の所までご連絡ください。

◎荏原第一地域センター「支え愛・ほっとステーション」

・開設日：月～金曜（祝日除く）
・時間：午前9時～午後5時
・電話：03-6421-5557

（事務局）

祝・春の叙勲受章

小山台2丁目町会・飯野英雄会長

表彰状を授与される飯野会長

平成29年度春の叙勲に、小山台2丁目町会の飯野英雄会長が、「瑞宝単光章」を受章されました。おめでとうございます。

飯野会長は、昭和43年に荏原消防団に入団して以来、副団長として、長年地域の防災活動、並びに、消防団の発展に尽くされました。

近年、荏原消防団は組織力も強化され、防災に対する体制も整えられて今に至っているそうです。また、女性隊員も増えているということで、嬉しいですね。

飯野会長は、阪神淡路大震災をはじめ、東北や熊本の震災を通しても、地域の防災活動が不可欠だとおっしゃっていました。

現在、団員は230名程です。地域を守るのは大変なことです。日頃から近隣との関係を密にして、いざという時のために危機意識を持って過ごして欲しい、とも話していました。肝に銘じましょう。

今後も地域のために、どうぞよろしくお願いいたします。

（小山台2丁目町会　木村　美智代）

幼馴染みで受章

～春の褒章～

春の褒章には、荏原第一管内から2人の方が受章されました。

黄綬褒章は、教科書供給を通じた学校教育の発展に貢献した功績で、有限会社ウシロヂ堂代表取締役・飯泉裕さんが受章。藍綬褒章は、地域の災害活動に取り組んできた功績で、荏原消防団副団長の青木章さんが受章されました。

お二人は父親同士が親友で、幼い頃から家族ぐるみの付き合いがあり、今回、幼馴染みで受章という二重の喜びに包まれました。

お二人は、「一緒に受章できて喜びも二倍。おやじにも感謝だね」と、固い握手を交わしていました。おめでとうございました。

（事務局）

飯泉裕さん（左）と青木章さん（右）

◎シリーズ◎ 駅前再開発

④「迷い猫保護の取り組みについて」

現在、基礎工事が着々と進み、現場仮囲いの隙間からは、掘削した地下の様子や鉄骨が組まれている姿を目にします。この場所は、小さなスナックやバーなどの飲食店が沢山密集していたところでした。そして、たくさんのノラ猫たちも、お店の人たちに可愛がってもらい生活をしていました。

再開発に伴い、猫たちの住まいも狭まり途方に暮れていたところ、地域のボランティアが手を差し伸べてくれました。その中心になっている方が、小山2丁目にお住まいの廣井さんです。

廣井さんは、今年の2月から5月までの間に、猫11匹を保護。自宅マンションで世話をしていましたが、幸いその内の2匹は里親が見つかり、また、猫カフェにお世話になった猫も1匹。その他の猫たちは、猫の保護に理解ある方々からの募金などで、エサや猫砂などを購入し現在に至っています。

品川区ではノラ猫対策として、町会や自治会に助成金を交付しています。地道な取り組みですが、去勢と不妊の手術が効果的として、獣医による処置に助成をしています。

小山2丁目西部町会でも、住民のノラ猫に対する苦情が高まったことがあり、廣井さんに相談。約6年かけて助成金を利用した対策を行いました。この結果、住民の苦情はほぼゼロになりました。苦労はしましたが、今ではネコの方から人間に近づくなど、地域の子どもたちも動物との共生を喜んでいます。

どの地域にもネコ好きの方はいらっしゃいます。努力は必要ですが、そのボランティアの方々は、動物への温かい想いから、苦ではなく愛情に変わるのだと思います。頭の下がる思いです。

廣井さんは、「地域の猫の問題は、好き嫌いもあると思うので難しいこともありますが、ボランティアの協力のもと、勇気をいただき頑張っています。これからも前進していけるよう、一緒に見守っていただけたら」と話していました。

最後にノラ猫にインタビューした声を初公開です。ネコ語の通訳なのでご了承ください。

「保護されて、今は安心して毎日を過ごしているニャ。心のすみでは申し訳ないニャと仲間たちと話しているんだニャ。再開発できれいになった街にオレたち住めるのかニャ？」。（小山2丁目西部町会・髙橋 元嘉）

街角ウォッチング

～グリーンウォール～

犬の散歩時に、今まで見たことがない素敵な生垣を発見。小山台1丁目付近のマンションの生垣で、高さは3メートル、横は5メートルほどです。呼び方も、調べても分からず、花屋さんに聞いてやっとのことで、「グリーンウォール」と教えてもらいました。素人にはとても出来ない生垣です。

壁面と緑化部を一体にすると、ヒートアイランド緩和、太陽光反射、日射の低減、土壌保水の蒸発散による大気冷却効果、空気清浄効果があるとのこと。植えられている植物は、タマリュウ、ヒゲリュウ、ヒューケラなど4種類だそうです。

こちらのお宅の方に伺ったところ、生垣の上部に灌水ホースが付いたパネルが設置されていて、毎朝5時に一鉢一鉢に5分ほど水が行き渡るようにセットされているそうです。メンテナンス作業は2か月に1回、点検や、剪定、殺虫などをして、美しい壁面緑化を維持しているとのことです。

このグリーンウォールは、2015年5月から始め、昨年、一度綺麗に植え変えたそうですが、この暑さで少し葉の色が変わったとおっしゃっていました。

このグリーンウォール。大崎地区の百反坂のマンションでも見られるところがあるようです。

（小山2丁目東部町会・山内静子）

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は８月２１日（月）発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。　http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

古紙を配合した紙を利用しています。